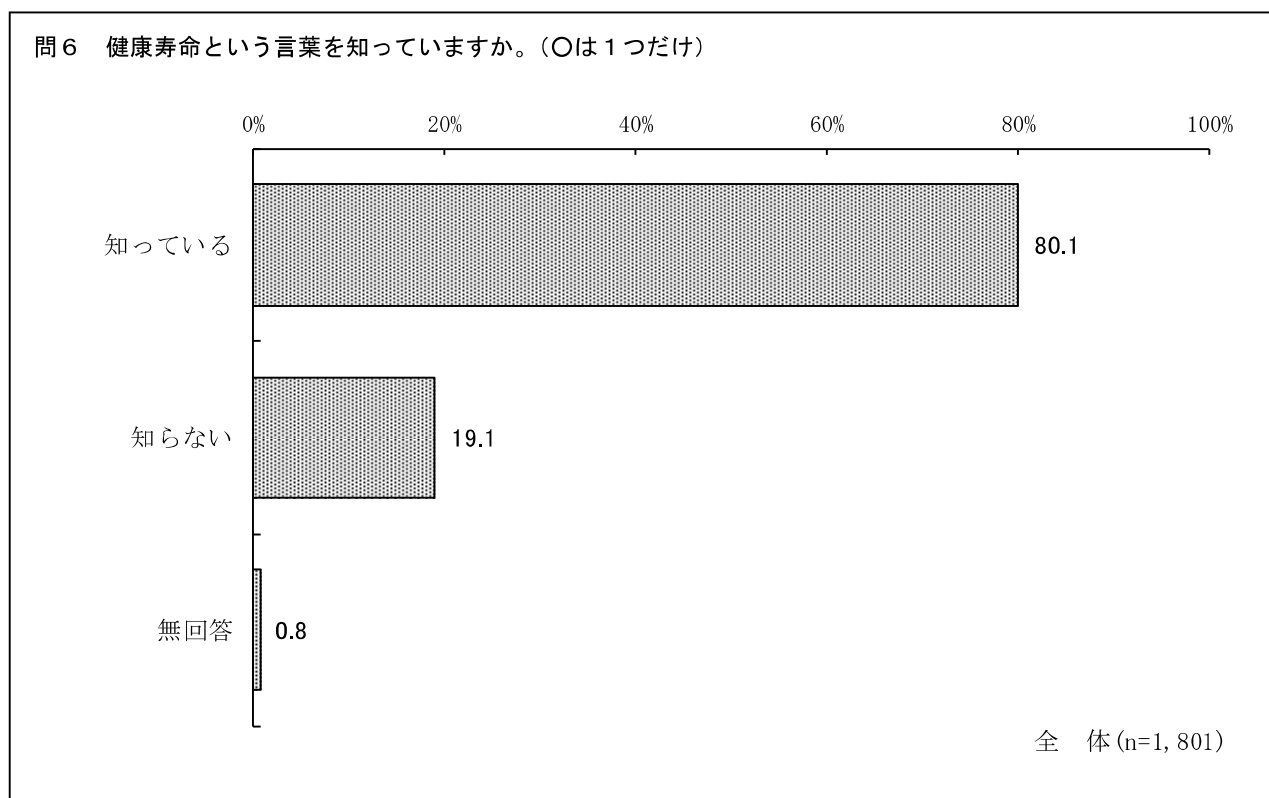


2. 健康寿命について

(1) 健康寿命という言葉の認知状況



健康寿命という言葉を「知っている」が約8割

【全体結果】

健康寿命という言葉を、「知っている」(80.1%)の割合が約8割を占めている。

【属性別結果】(図2-1参照)

① 地区別

全体結果で最も割合の高かった「知っている」については、中央区(82.6%)の割合が最も高くなっている。また、「知らない」は西蒲区(25.4%)で高く、全体の約4分の1を占めている。

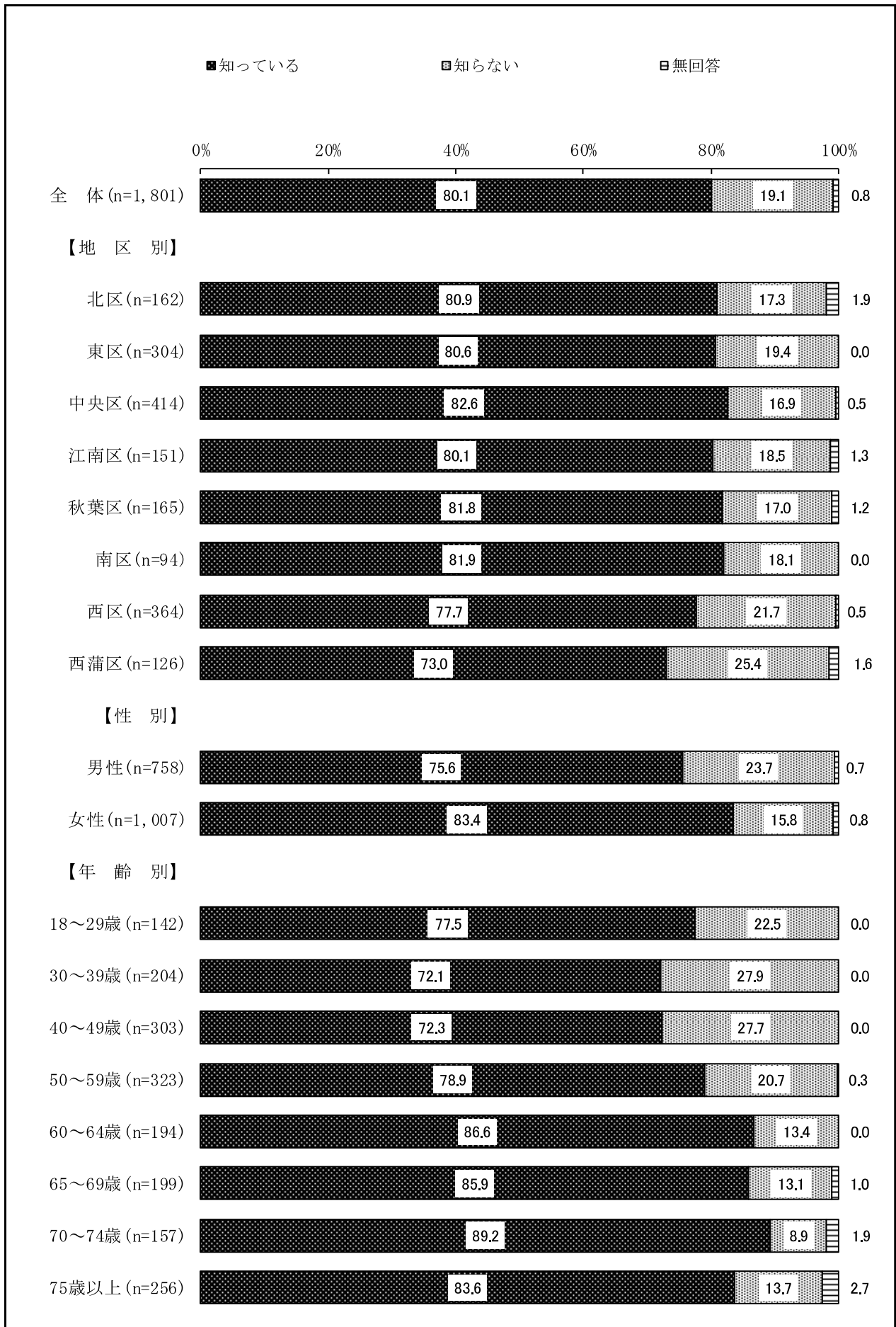
② 性別

「知っている」の割合は、女性(83.4%)の方が男性(75.6%)よりも高くなっている。

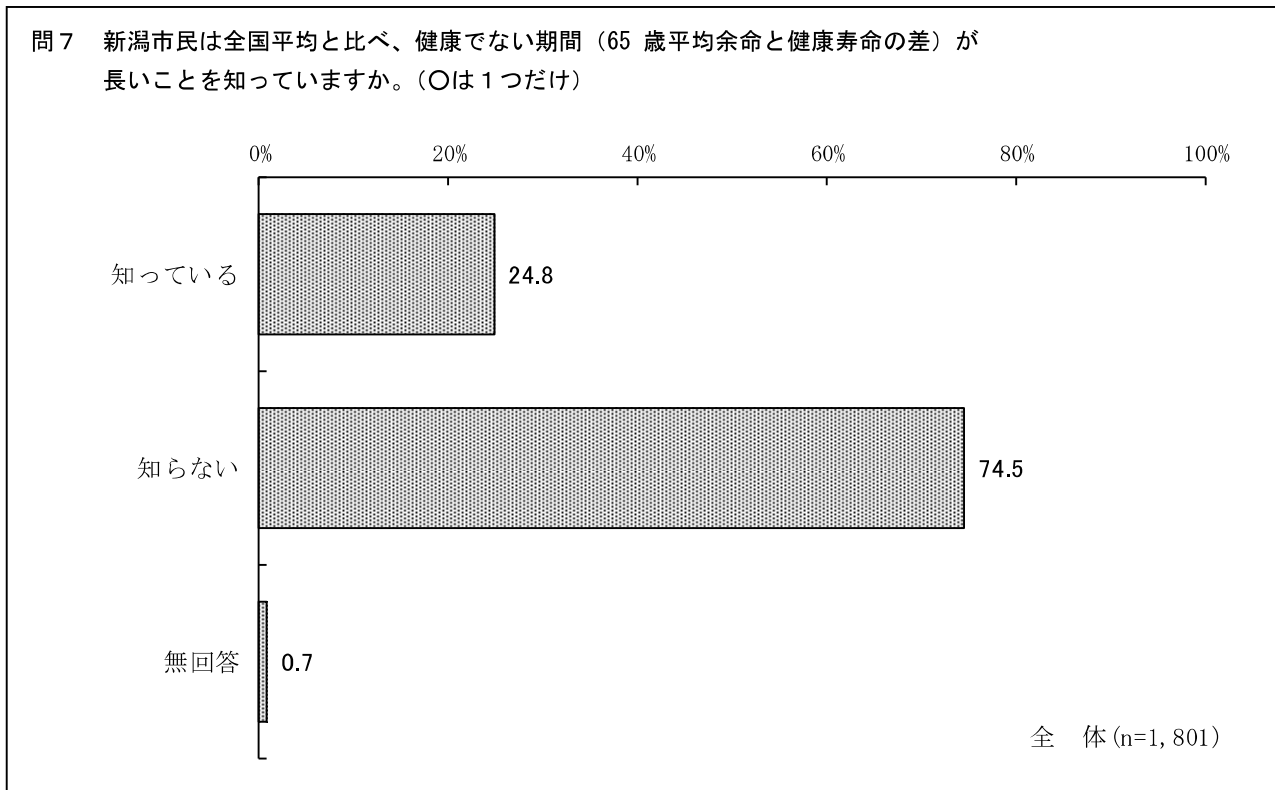
③ 年齢別

「知っている」の割合は、70~74歳(89.2%)が最も高く、約9割となっている。

図 2-1 健康寿命という言葉の認知状況（地区別／性別／年齢別）



(2) 健康でない期間が長いことの認知状況



————— 健康でない期間が長いことを「知らない」が全体の4分の3 —————

【全体結果】

新潟市民が全国平均と比べて健康でない期間が長いことを、「知らない」（74.5%）の割合が、全体の4分の3を占めている。

【属性別結果】（図2-2参照）

① 地区別

全体結果で最も割合の高かった「知らない」については、西区（78.3%）の割合が最も高くなっている。また、「知っている」は秋葉区（30.3%）で高く、約3割を占めている。

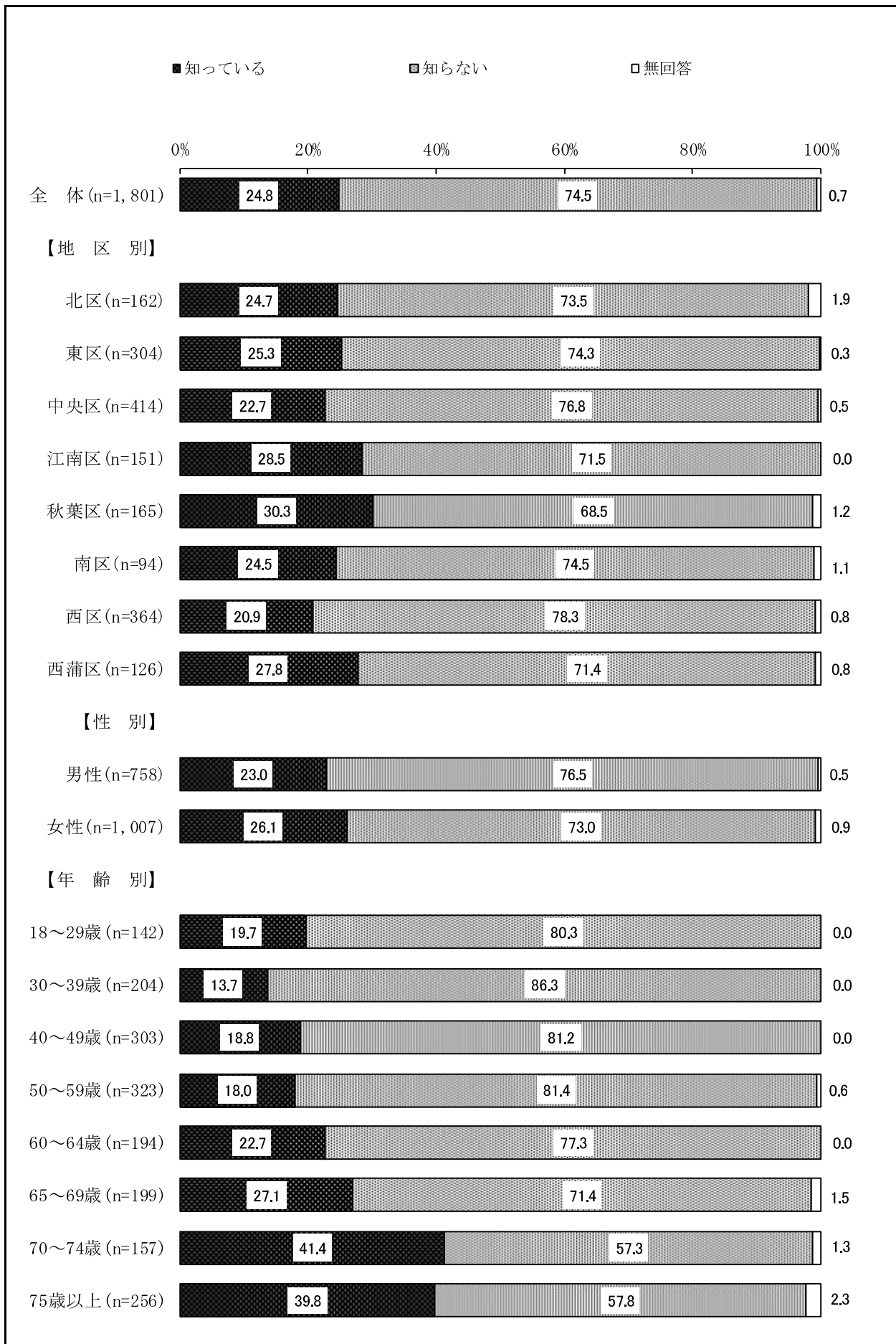
② 性別

「知らない」の割合は、男性（76.5%）の方が女性（73.0%）よりもやや高くなっている。一方、「知っている」の割合は、女性（26.1%）の方が男性（23.0%）よりもやや高くなっている。

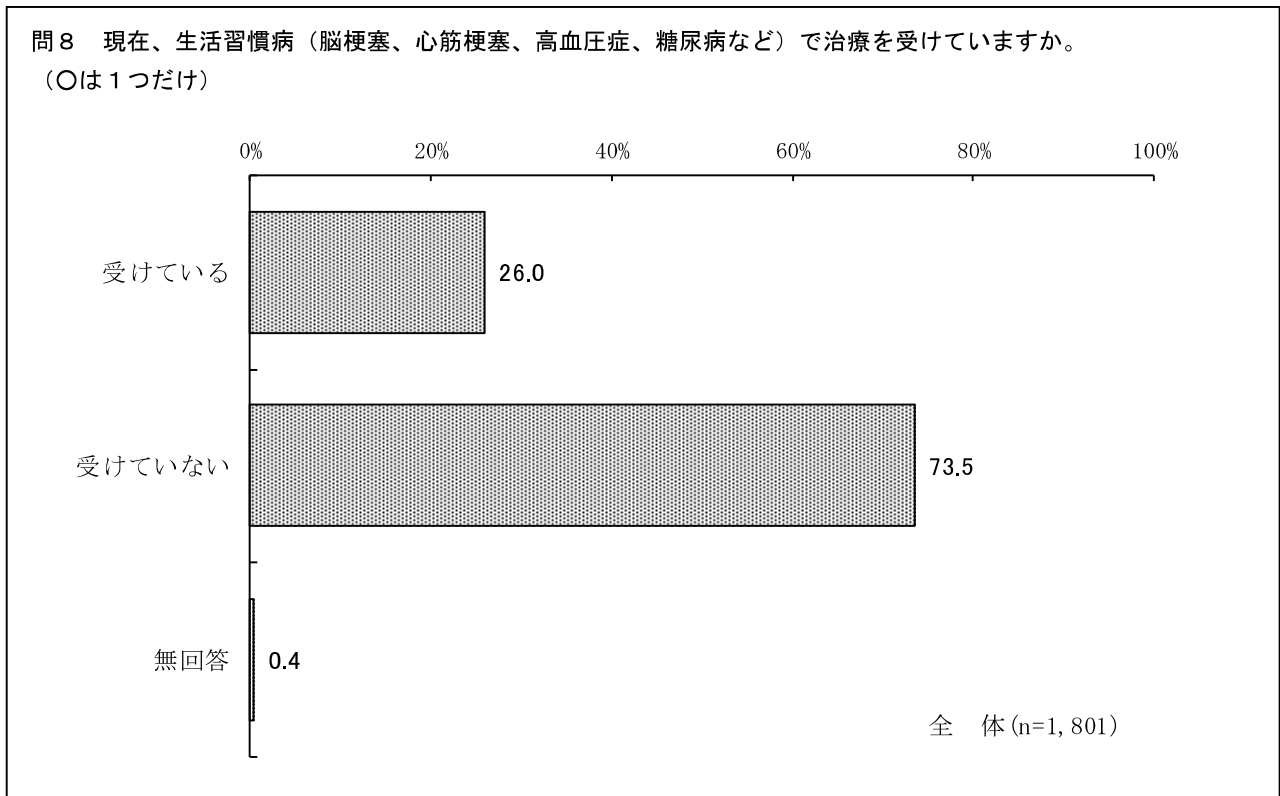
③ 年齢別

「知らない」の割合は、30代（86.3%）が高くなっている。一方、「知っている」の割合は、70歳以上で高く、4割前後を占めている。

図 2-2 健康でない期間が長いことの認知状況（地区別／性別／年齢別）



(3) 生活習慣病の治療の有無



————— 生活習慣病の治療を「受けていない」が7割を超えている —————

【全体結果】

現在、生活習慣病の治療を、「受けていない」(73.5%)の割合が最も高く、7割を超えている。

【属性別結果】(図2-3参照)

① 地区別

全体結果で最も割合の高かった「受けていない」については、東区(77.3%)の割合が最も高くなっている。また、「受けている」の割合は南区(31.9%)で高くなっている。

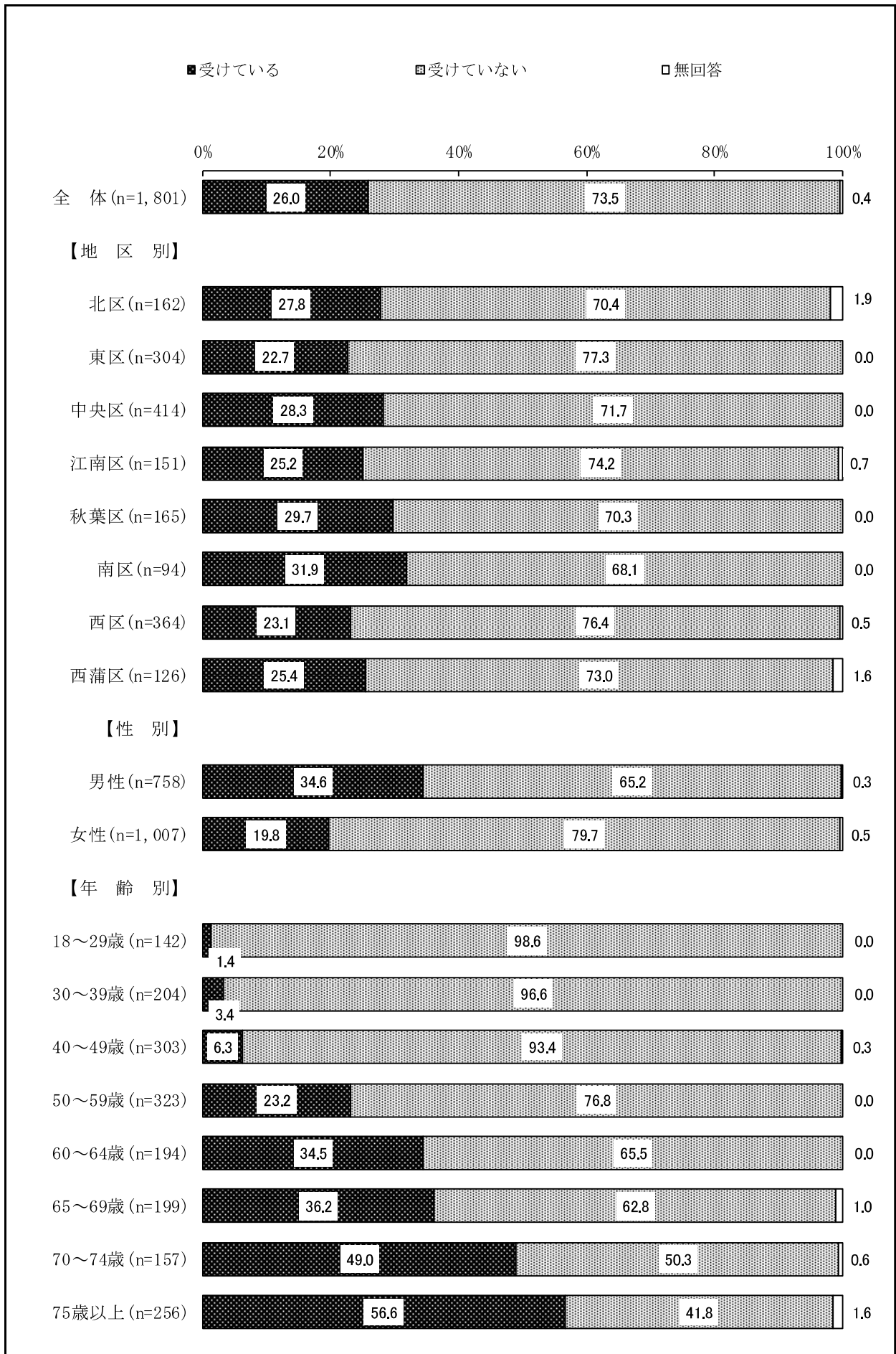
② 性別

「受けていない」の割合は、女性(79.7%)の方が男性(65.2%)よりも高くなっている。一方、「受けている」の割合は、男性(34.6%)の方が女性(19.8%)よりも高くなっている。

③ 年齢別

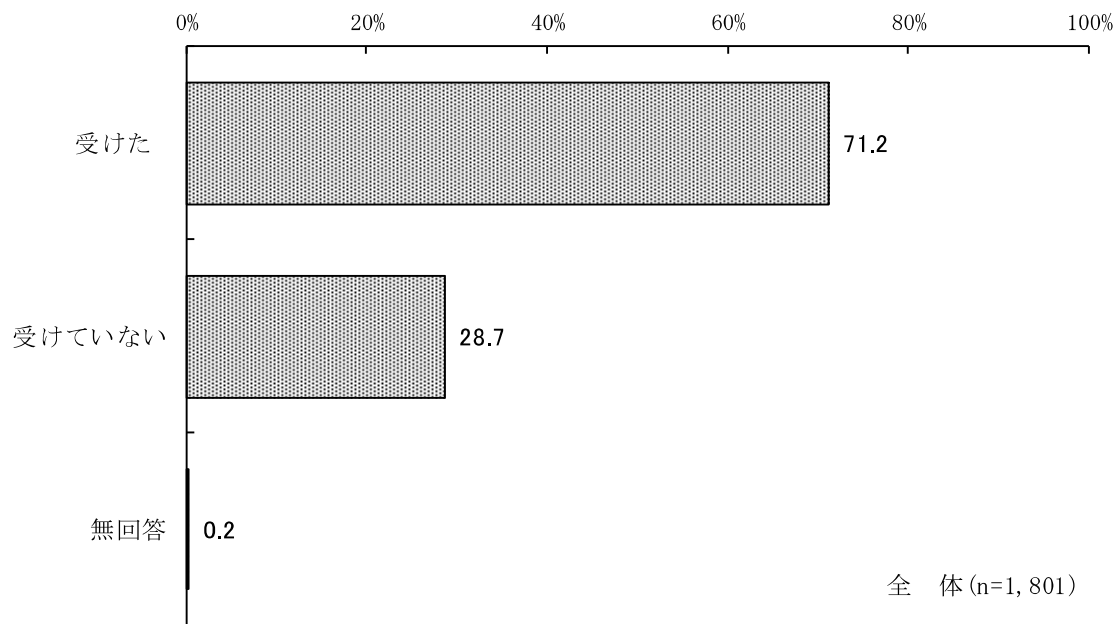
「受けている」の割合は、年齢が上がるにつれて高くなる傾向がみられ、75歳以上では半数以上となっている。

図 2-3 生活習慣病の治療の有無（地区別／性別／年齢別）



(4) 健診受診の有無

問9 あなたは、平成28年度中に健診（健康診断、人間ドック等）を受けましたか。（○は1つだけ）
（注：次のようなものは健診には含まれません。がんのみの検診、妊産婦検診、歯の健康診査、病院や診療所で行う診療としての検査）



平成28年度中に健診を「受けた」が最も多い

【全体結果】

平成28年度中に健診を、「受けた」（71.2%）の割合が最も高く、7割を超えている。

【属性別結果】（図2-3参照）

① 地区別

全体結果で最も割合の高かった「受けた」については、北区と西蒲区（それぞれ74.7%、74.6%）で高く、全体の約4分の3を占めている。また、「受けていない」の割合は東区（30.6%）で高く、約3割を占めている。

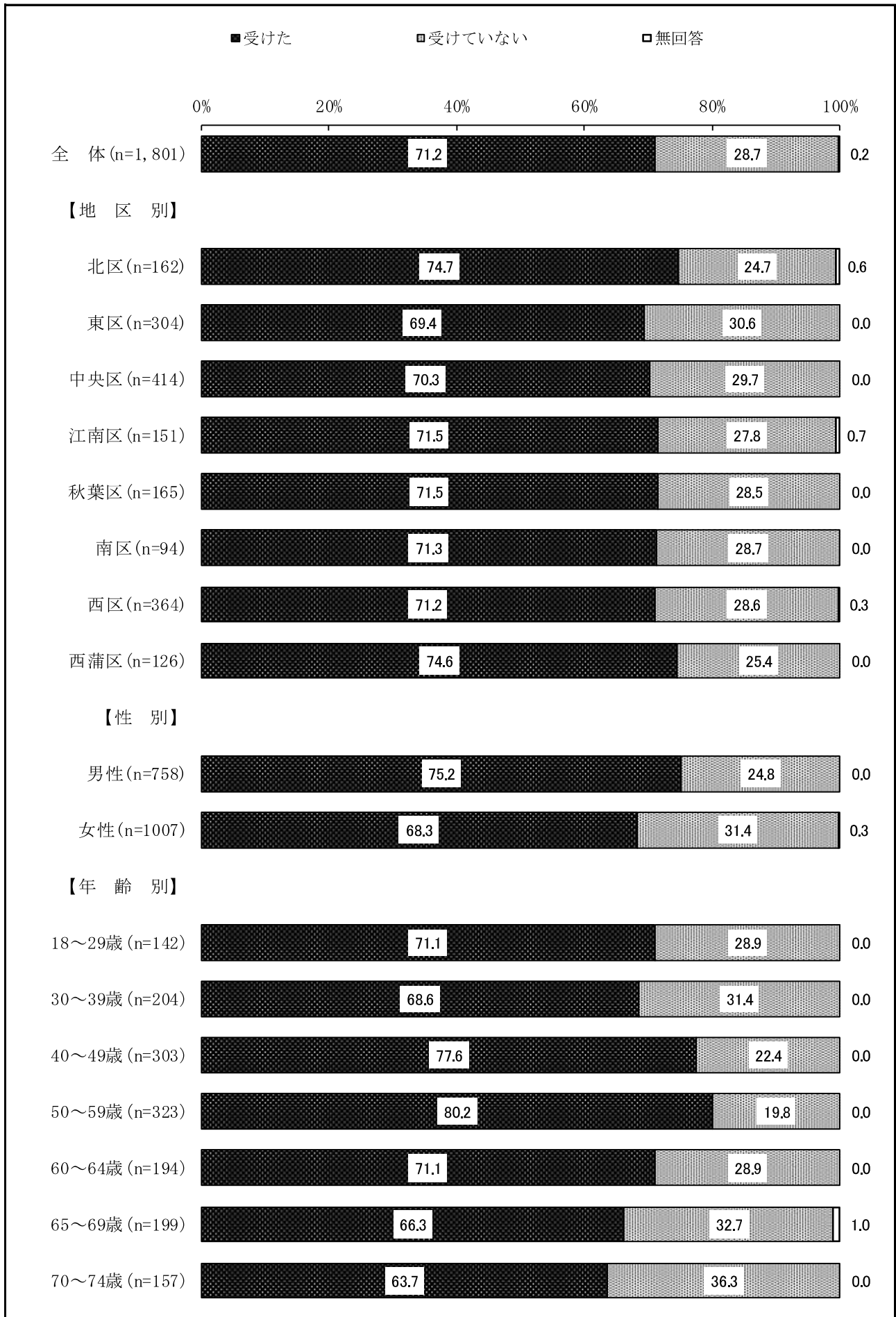
② 性別

「受けた」の割合は、男性（75.2%）の方が女性（68.3%）よりも高くなっている。一方、「受けていない」の割合は、女性（31.4%）の方が男性（24.8%）よりも高くなっている。

③ 年齢別

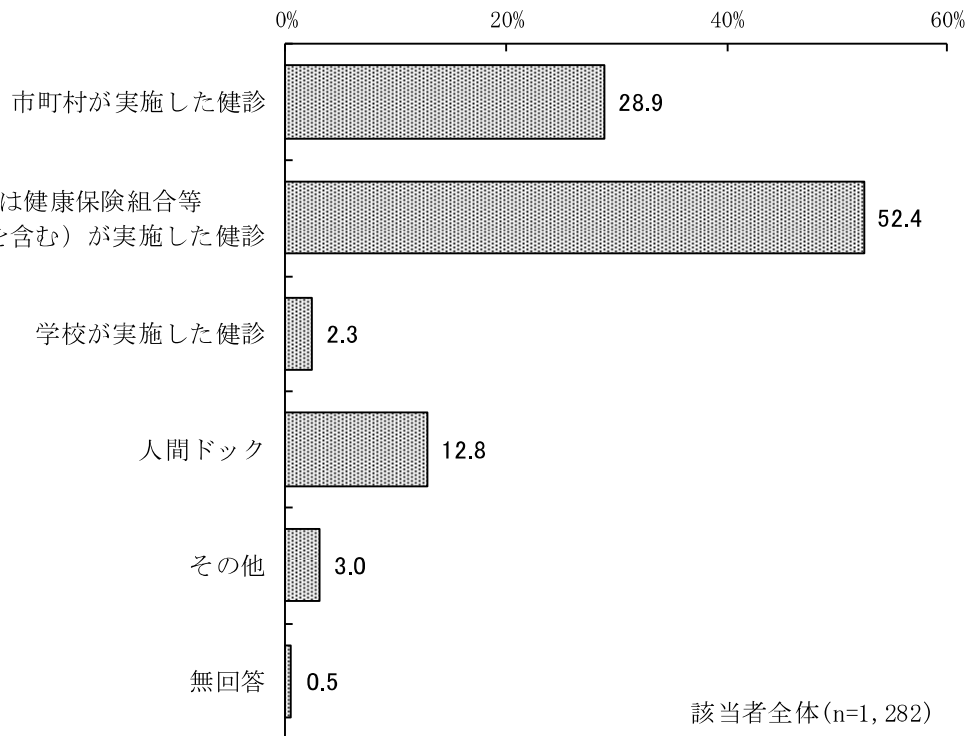
「受けた」の割合は、50代（80.2%）で高く、約8割を占めている。

図 2-4 健診受診の有無（地区別／性別／年齢別）



(5) 健診を受けた機会

(問9で「1」(受けた)と答えた方は問10へ、問9で「2」(受けていない)と答えた方は問12へ)
問10 どのような機会に健診を受けましたか。(○は1つだけ)



「勤め先または健康保険組合等が実施した健診」が半数以上

問9で「1」(受けた)を回答した1,282人への質問である。

【全体結果】

健診を受けた機会については、「勤め先または健康保険組合等(家族の勤め先を含む)が実施した健診」(52.4%)の割合が最も高くなっている。以下、「市町村が実施した健診」(28.9%)が2割台、「人間ドック」(12.8%)が1割台が続いている。

【属性別結果】（図 2-5 参照）

① 地区別

全体結果で最も割合の高かった「勤め先または健康保険組合等（家族の勤め先を含む）が実施した健診」については、南区（62.7%）の割合が最も高く、6割を超えている。

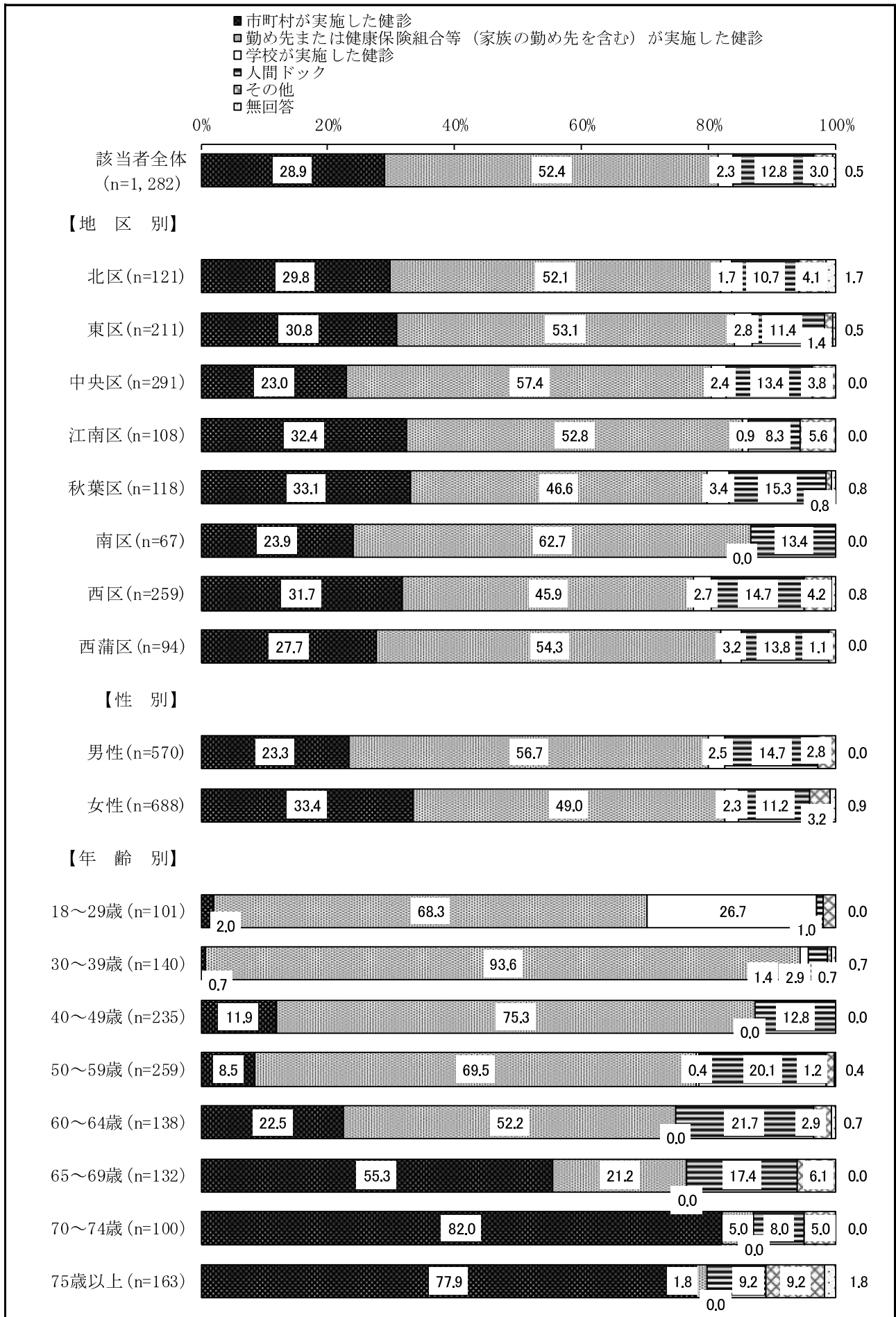
② 性別

「勤め先または健康保険組合等（家族の勤め先を含む）が実施した健診」の割合は、男性（56.7%）の方が女性（49.0%）よりも高くなっている。また、「市町村が実施した健診」の割合は、女性（33.4%）の方が男性（23.3%）よりも高くなっている。

③ 年齢別

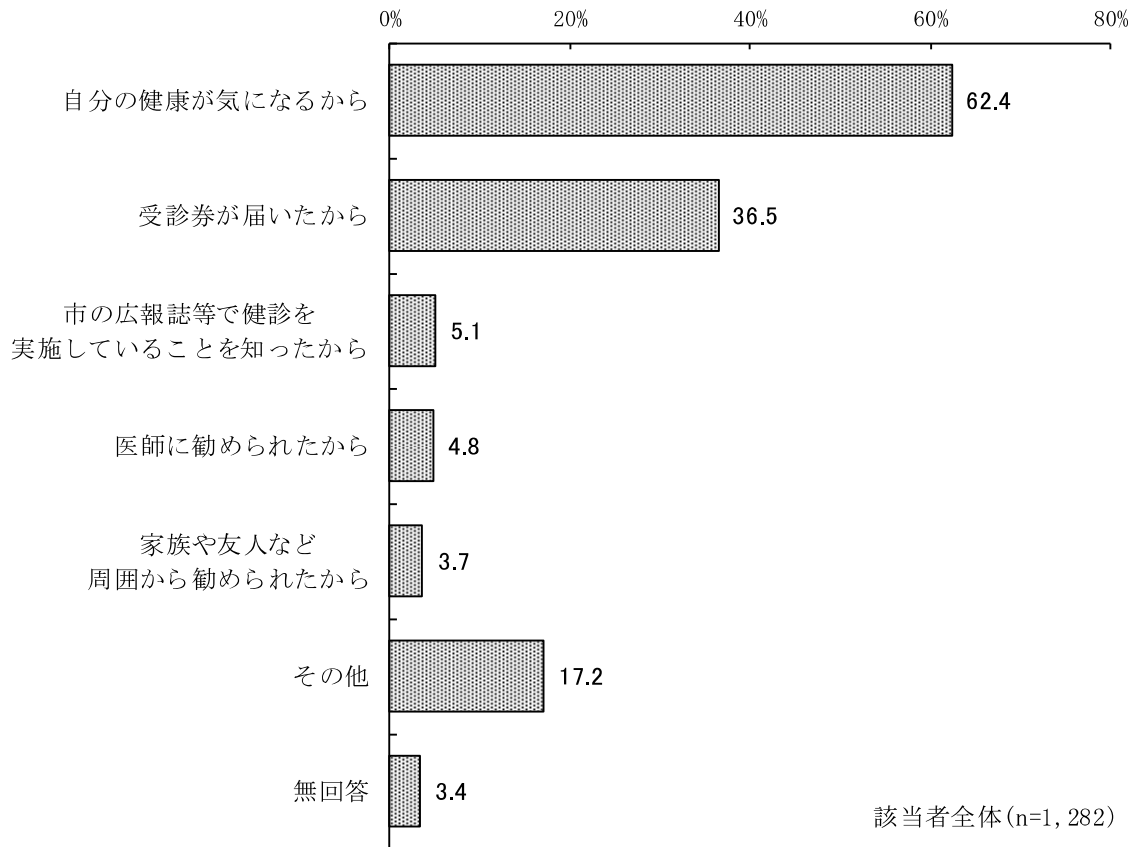
「学校が実施した健診」は18～29歳（26.7%）が、「勤め先または健康保険組合等（家族の勤め先を含む）が実施した健診」は30代（93.6%）が、それぞれ高く、他年齢層を大きく上回っている。「市町村が実施した健診」は年齢が上がるにつれて高くなる傾向がみられ、70歳以上では8割前後を占めている。

図 2-5 健診を受けた機会（地区別／性別／年齢別）



(6) 健診を受けたきっかけ

(問9で「1」(受けた)と答えた方は問10へ、問9で「2」(受けていない)と答えた方は問12へ)
問11 健診を受けたきっかけは何ですか。(〇はいくつでも)



「自分の健康が気になるから」が最も多い

問9で「1」(受けた)を回答した1,282人への質問である。

【全体結果】

健診を受けたきっかけについては、「自分の健康が気になるから」(62.4%)の割合が最も高く、6割を超えている。これに「受診券が届いたから」(36.5%)が続いている。

【属性別結果】（図 2-6 参照）

① 地区別

全体結果で最も割合の高かった「自分の健康が気になるから」については、南区（65.7%）と北区（65.3%）の割合がやや高くなっている。

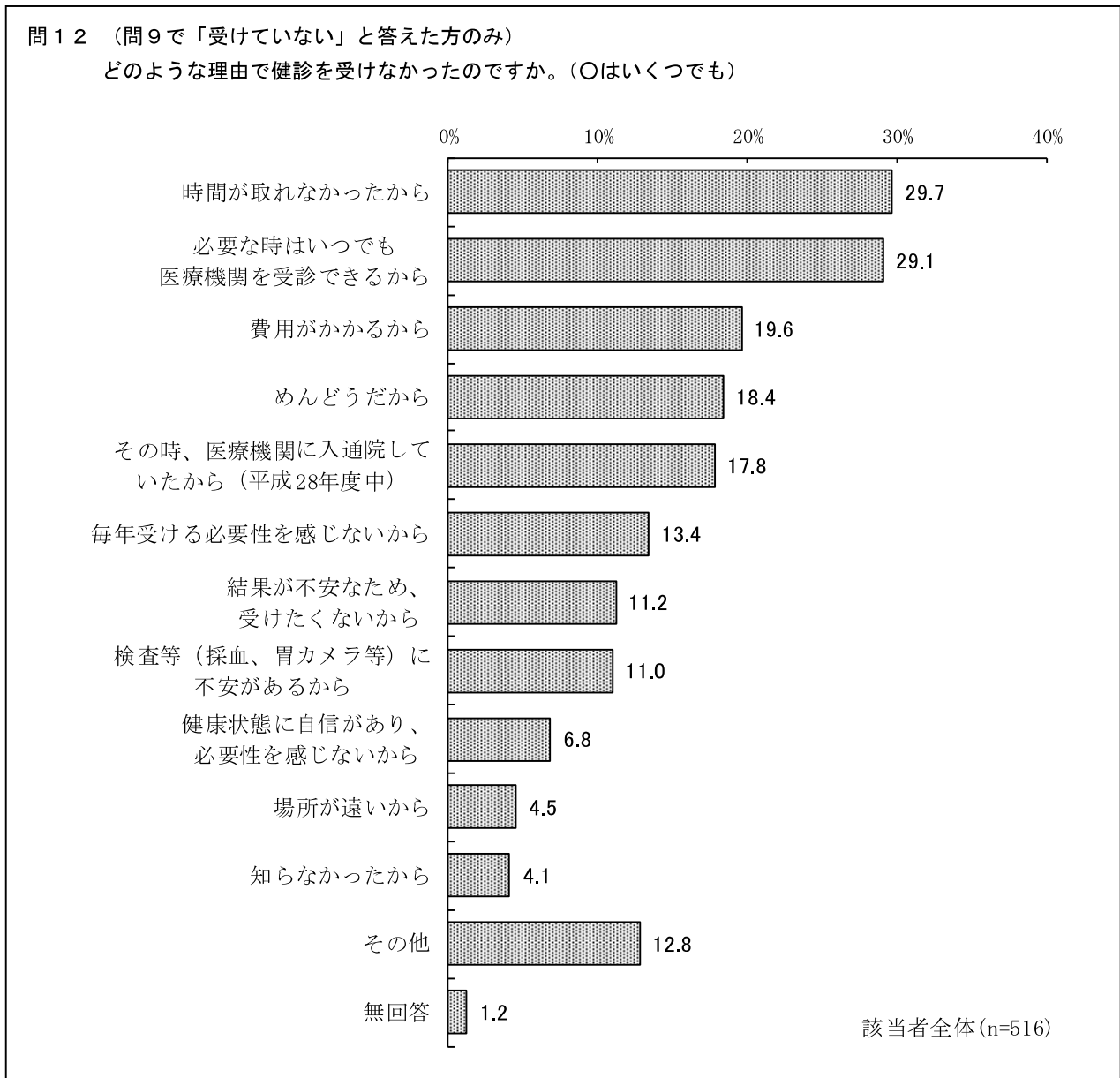
② 性別

「受診券が届いたから」の割合は、女性（42.0%）の方が男性（30.0%）よりも高くなっている。

③ 年齢別

「自分の健康が気になるから」は年齢が上がるにつれて高くなる傾向がみられ、70～74歳（78.0%）が最も高くなっている。また、「受診券が届いたから」は70～74歳（54.0%）の割合も高く、半数以上となっている。「市の広報誌等で健診を実施していることを知ったから」「医師に勧められたから」は75歳以上（それぞれ19.0%、16.0%）が高く、他年齢層を上回っている。

(7) 健診を受けなかった理由



—— 「時間が取れなかったから」「いつでも受診できるから」が約3割 ——

問9で「2」(受けていない)を回答した516人への質問である。

【全体結果】

健診を受けなかった理由については、「時間が取れなかったから」(29.7%)の割合が最も高く、「必要な時はいつでも医療機関を受診できるから」(29.1%)が僅差で続いている。以下、「費用がかかるから」(19.6%)、「めんどうだから」(18.4%)、「その時、医療機関に入通院していたから (平成28年度中)」(17.8%)が2割未満となっている。

【属性別結果】（図 2-7 参照）

① 地区別

全体結果で最も割合の高かった「時間が取れなかったから」については、秋葉区（38.3%）と北区（37.5%）で高く、4割未満となっている。「必要な時はいつでも医療機関を受診できるから」では秋葉区（42.6%）の割合が高く、4割を超えている。

② 性別

「必要な時はいつでも医療機関を受診できるから」の割合は、女性（31.0%）が男性（26.6%）よりも高くなっている。「その時、医療機関に入通院していたから（平成 28 年度中）」の割合は、男性（21.3%）の方が女性（15.8%）よりも高くなっている。

③ 年齢別

「時間が取れなかったから」「費用がかかる」は 30 代（それぞれ 43.8%、37.5%）と 40 代（それぞれ 42.6%、35.3%）が、「めんどうだから」は 40 代（30.9%）が、「必要な時はいつでも医療機関を受診できるから」は 60～64 歳（41.1%）と 75 歳以上（44.6%）の割合がそれぞれ高く、他年齢層を上回っている。

図 2-7 健診を受けなかった理由（地区別／性別／年齢別） 1/2

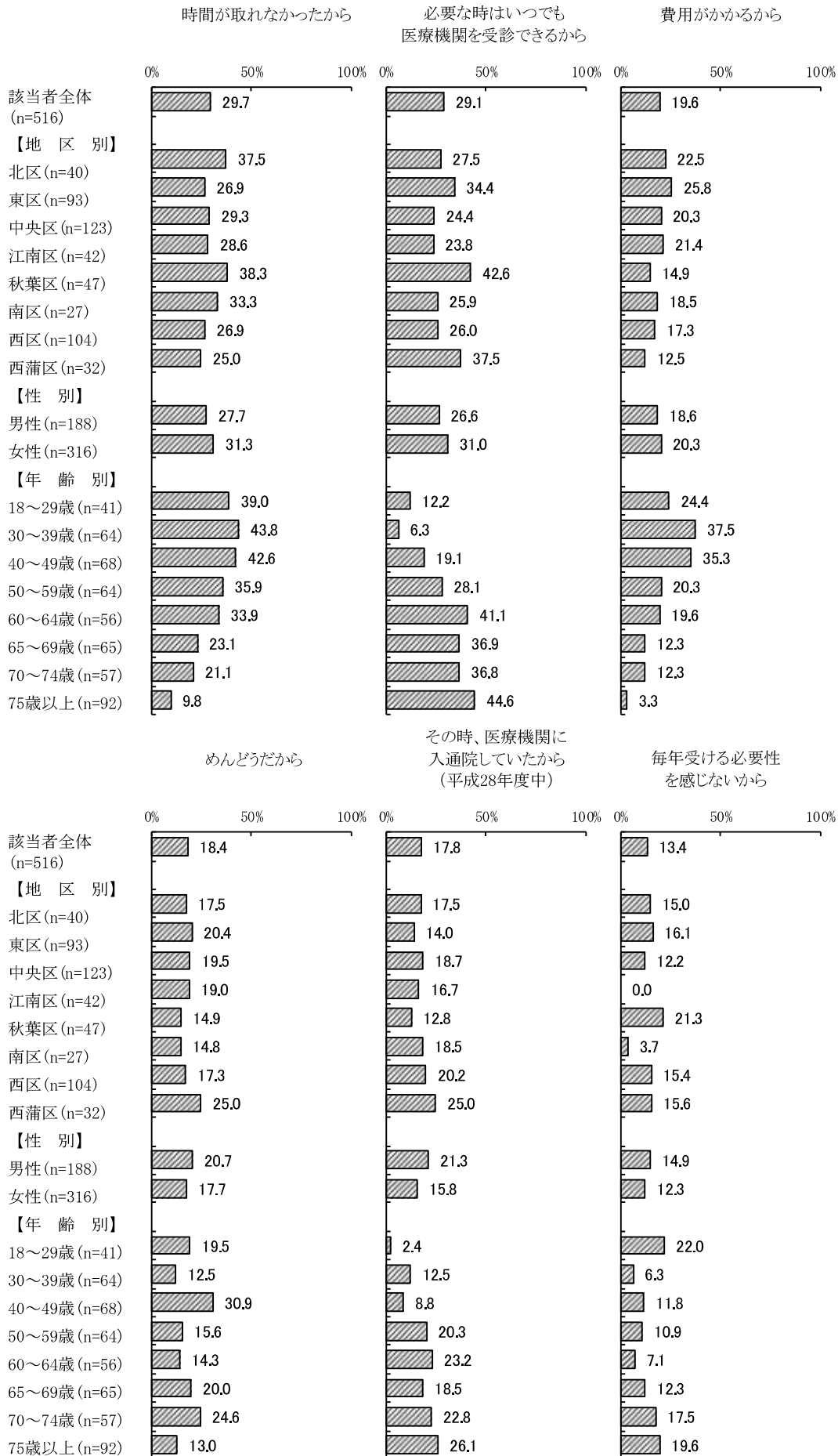
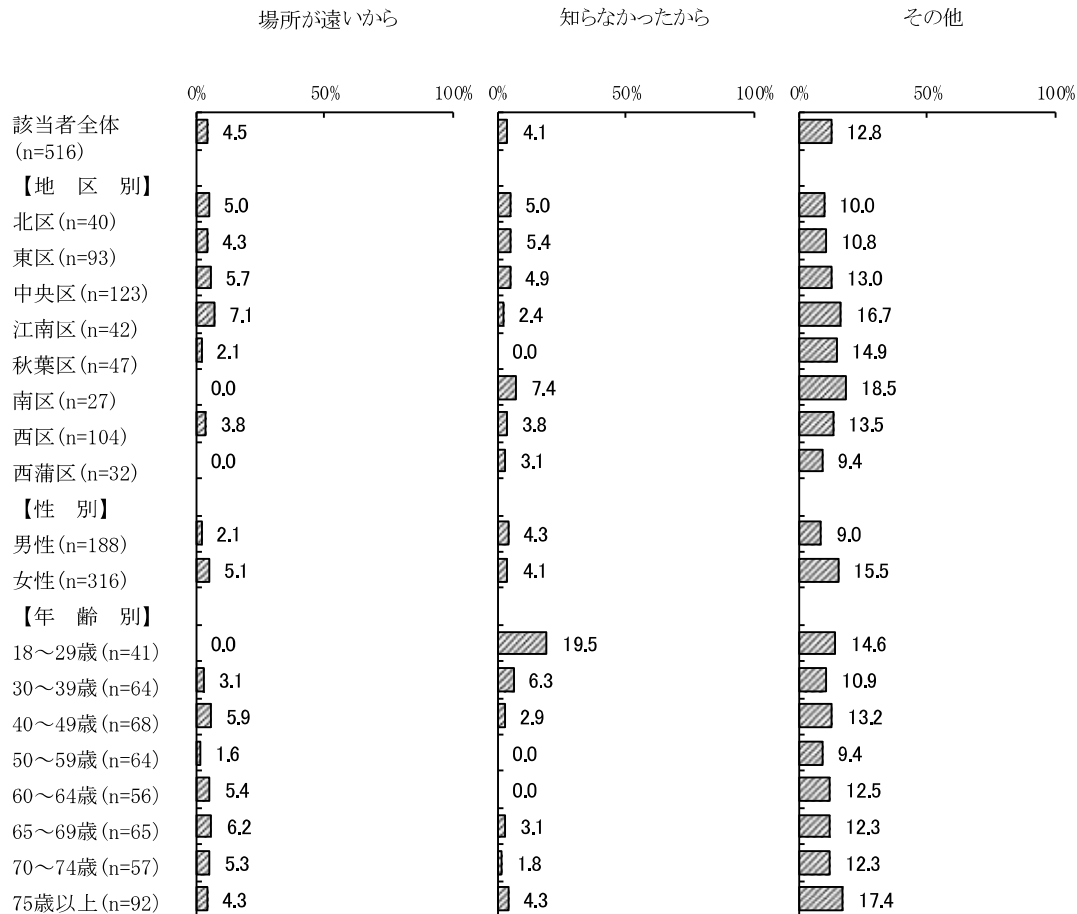
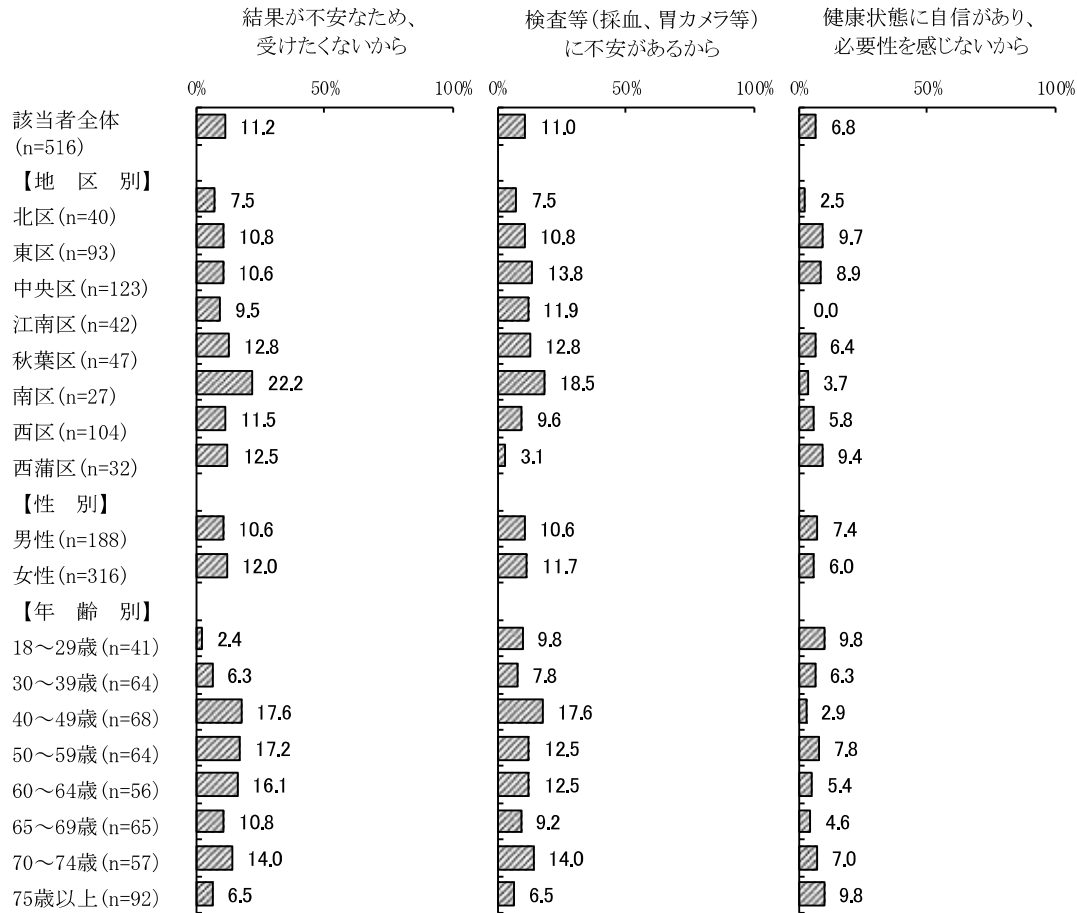
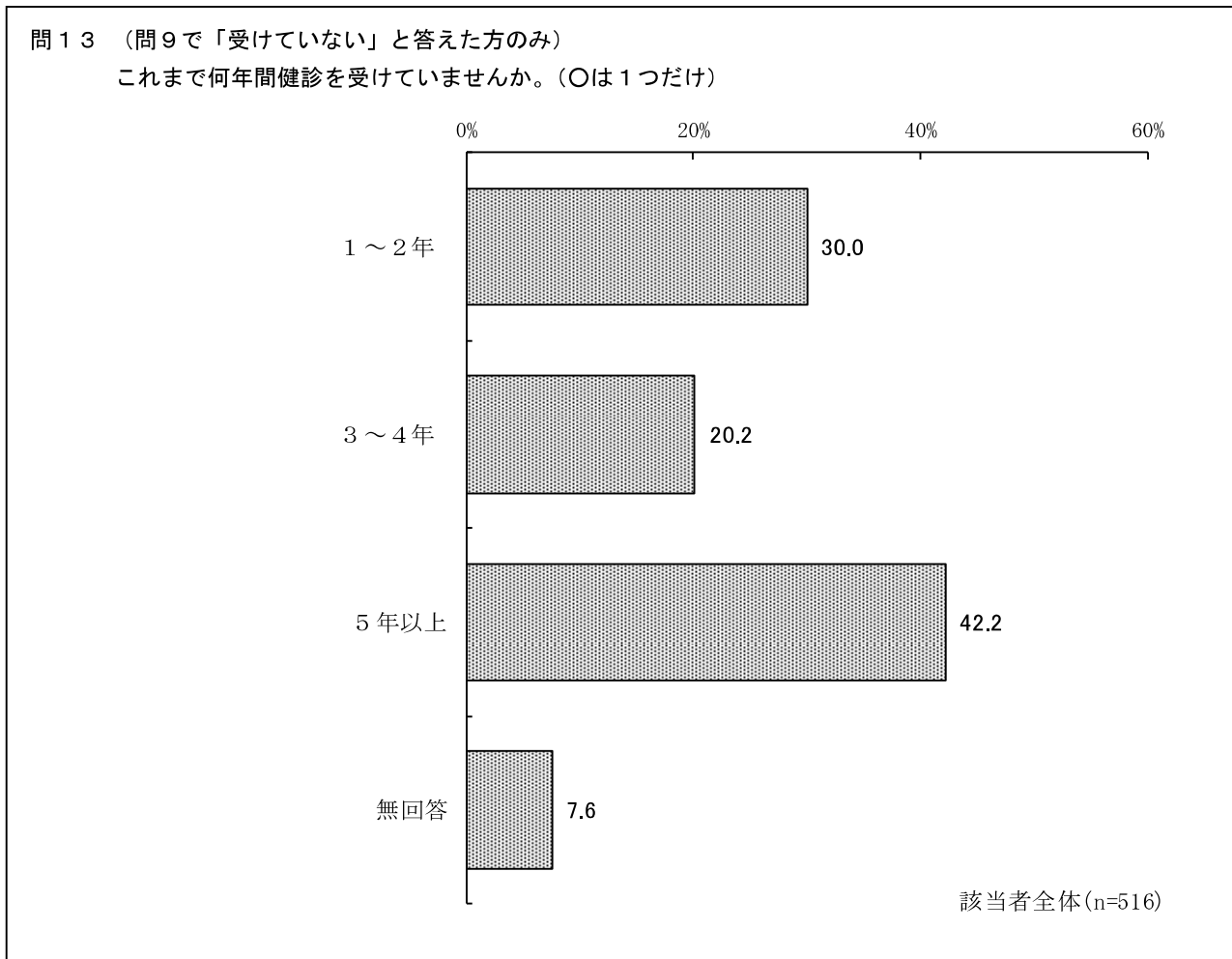


図 2-7 健診を受けなかった理由（地区別／性別／年齢別） 2/2



(8) 健診を受けていない期間



「5年以上」健診を「受けていない」が最も多い

問9で「2」（受けていない）を回答した516人への質問である。

【全体結果】

健診を受けていない期間については、「5年以上」（42.2%）の割合が最も高くなっている。以下、「1～2年」（30.0%）、「3～4年」（20.2%）が続いている。

【属性別結果】（図2-3参照）

① 地区別

全体結果で最も割合の高かった「5年以上」については、東区（50.5%）の割合が最も高く、約5割となっている。また、「1～2年」の割合は西蒲区（37.5%）で高くなっている。

② 性別

性別では、大きな差は見られない。

③ 年齢別

「5年以上」の割合は、70～74歳（52.6%）の割合が最も高くなっている。

図 2-8 健診を受けていない期間（地区別／性別／年齢別）

